

## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道305号 金沢外環状道路海側幹線		事業区分	国道改築	事業主体	石川県
起終点	起点 石川県金沢市鞍月地内	終点 石川県金沢市福増地内	延長	6.2 km		
事業概要	金沢外環状道路海側幹線（L=18.5 km）は、能登・金沢・加賀を連結し、広域交流を促進するとともに金沢港、北陸自動車道、小松空港などいわゆる、物流拠点間の連結やアクセス強化を図り、さらには国道8号や主要地方道松任宇ノ気線の慢性的な渋滞解消を図る極めて重要な幹線道路である。					
H9年度事業化	H9年度都市計画決定 （H 年度変更）	H9年度用地着手	H 年度工事着手			
全体事業費	900億円	事業進捗率	27%	供用済延長	0 km	
計画交通量	39,600～51,500台/日					
費用対効果 分析結果	B/C （事業全体） 4.2 （残事業） 6.2	総費用 （事業費）/（事業全体） 530/785億円 （事業費：493/748億円） 維持管理費：37/37億円	総便益 （残事業）/（事業全体） 3295/3295億円 （走行時間短縮便益：3021/3021億円） （走行費用減少便益：215/215億円） （交通事故減少便益：59/59億円）	基準年 平成17年		
感度分析の結果	実施していない					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>西部副都心の基盤形成</li> <li>国道8号、主要地方道松任宇ノ気線の慢性的な渋滞の解消</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	地元関係団体より早期整備を望む要望多数有り					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成15年に石川県庁が鞍月への移転した。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	本線部・側道部ともに平成9年より事業着手し、金沢市福増町～鞍月間については平成16年7月に側道部を全線供用した。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	本線部については、計画通り用地取得を進めており、順調に進捗している。					
施設の構造や工法の変更等						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	整備効果が高く、事業継続と判断					
事業概要図	<p style="text-align: center;">金沢外環状道路（海側幹線）L=18.5 km</p> <p style="text-align: center;">II期区間L=4.1km (白山IC～金沢市福増)    I期区間L=6.2km (金沢市福増～鞍月)    III期区間L=2.4km (金沢市鞍月～大町)</p> <p style="text-align: center;">地域高規格道路調査区間 L=8.2km</p> <p style="text-align: center;">山邊特設道(2車線) L=4.0km</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。